

傷ついた組織に気づく、安全な組織をつくる

トラウマインフォームドシステム

支援者と子どもを支える安全な組織づくり

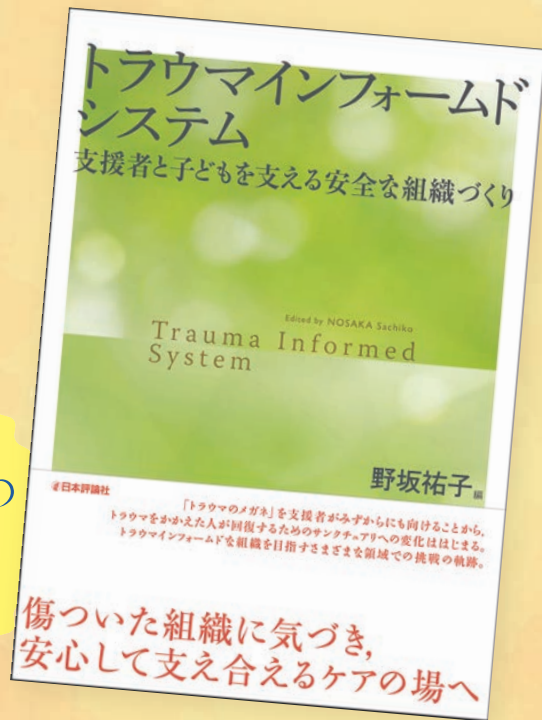
Trauma Informed System

●大阪大学大学院人間科学研究科教授

野坂祐子 [編]

NOSAKA Sachiko

心理・教育・
福祉・医療領域の
援助職必携



傷ついた組織に気づき、
安心して支え合えるケアの場へ

支援現場に「何が起きているのか？」そのまなざしが、

トラウマインフォームドな組織(システム)を作る。

様々な現場での挑戦を紹介する。

■A5判

■定価3,080円(税込)

ISBN978-4-535-56446-6

2026年6月刊行

好評発売中

目次

第I部 概論——トラウマインフォームドな組織とは:野坂祐子

第1章 トラウマインフォームドケアの基本

第2章 トラウマが支援者と組織に与える影響

第3章 安全・安心な組織をつくる
——トラウマインフォームドシステムの実装に向けて

第II部 実践編——さまざまな領域での挑戦

第4章 支援者はトラウマインフォームドケアで何を見るか:辻野琢也
——みずからに気づき、仲間とつながり、組織に広げる

[コラム1]子どもの命、そして、家族を支える児相職員を守りたい:北千恵

第5章 だれも触れないボールは転がってくるものである:奥野美和子
——“問題行動”の背景

[コラム2]教員が癒され合う関係が、生徒を支える:松澤佳子

第6章 傷ついた組織に気づく、安全な組織をつくる:宗光加代
——「高知県 気づくとできてた けもの(TIC)道」

[コラム3]児童相談所で直面するトラウマと喪失:坂田香織

第7章 対話が安全をはくくむ:佐藤慎也
——大分県でのトラウマインフォームドな組織づくり

[コラム4]LIFE GOES ON:高下洋之
——トラウマに圧倒されず日々の生活を支援する

第8章 児童精神科病棟でのトラウマインフォームドなチーム支援:岩垂喜貴
[コラム5]なぜ支援はすれちがう?:坂東希

第9章 職員室を教員の避難所に:長澤良作
——教員にとっての安全な学校づくり

[コラム6]学校のなかで小さくつながる:大澤功

第10章 障がい福祉実践におけるトラウマインフォームドケア:松岡由美
——二次受傷と支援をめぐる沈黙・再演・そして希望

[コラム7]トラウマインフォームドな発達支援を目指して:宮野原勇斗

第11章 こころと生活をつなぐ:高田紗英子
——心理職と生活支援職との協働

[コラム8]養護教諭にできる安全な学校づくり:菊池美奈子

第12章 困難な問題を抱える女性への支援:浅野恭子
——周辺化された分野における安全な組織づくり

[コラム9]トラウマへの態度を自己覚知し、安全な組織をつくる:吉田博美

第13章 会議が「自分たちと子どもを守る場」になる:吉村拓美
——若手職員と中堅職員のピア・サポートガイド

◎お求めは全国の
書店で

書店に無い場合、
ご注文は
こちらから



日本評論社



Amazon